

社会資本総合整備計画

都市機能の集約と集積によるコンパクトシティの構築

(第3回変更)

平成30年10月11日

北海道滝川市

社会資本総合整備計画

平成30年10月11日

計画の名称	1 都市機能の集約と集積によるコンパクトシティの構築			重点計画の該当	
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 （5年間）		交付対象	北海道滝川市	
計画の目標					

滝川市においては、市街地の拡大により人口の低密度化や都市経営に係る各種コストが増大し、また、中心市街地の機能低下により自動車交通に依存した高齢化社会に対応しづらい都市形態となっている。こういった現状を踏まえ、将来の人口減少・超高齢化社会の到来や地球環境問題の深刻化などに対応するため、滝川市都市計画マスタープラン（平成23年3月策定）において、都市づくりの理念を「北のエコ・コンパクトシティ たきかわ」とし、市街地を幹線道路や主要拠点周辺に集約する市街地のコンパクト化を目指すこととしている。

この理念の実現に向け、幹線道路である都市環状軸においては、区画整理事業によって西二号通を整備することで都市環状軸の泉町地区におけるミッシングリンクを解消して都市内モビリティの向上・円滑化を図るとともに、地区内敷地の集約・整理化による土地利用の増進を図って都市環状軸の範囲内を基本として日常利便施設や居住施設を誘導することにより、さらなる市街地の拡散と低密度化の進行を防ぐことを目指す。

また、交通結節点であるJR滝川駅及び中央バス滝川ターミナルと都市環状軸である一般国道451号を結ぶ市道鈴蘭通線において歩道のバリアフリー化や線形改良を実施することにより、交通結節点と新たに都市機能が集積される栄町3－3地区などの中心市街地及び都市環状軸のアクセスの円滑化向上を図る。

中心市街地の中央・都市環状軸沿いに所在する栄町3－3地区においては、滝川市栄町3－3地区市街地総合再生計画（平成26年9月策定）に基づき、地区内の閉鎖された老朽施設の跡地へ業務施設や高齢者福祉施設などを誘導し、近隣の既存商店街と併せ徒歩圏に都市機能を集積することにより、来るべき超高齢化社会において高齢者にあっても暮らしやすい快適な街の実現を図る。また、各種施設と共に整備される「ひろば」的空間や地区を通り抜けるフットパスなどにより市民や来訪者が日常的に利用し、ときに憩い、ときに集える空間が創造されることから、官民が協働して実施している商店街振興施策とも連携し、大規模商業施設の閉鎖により機能が低下しつつある中心市街地を活性化し、賑わいを取り戻すことを目指す。

計画の成果目標（定量的指標）												
日常利便施設（日用品スーパー等）の立地を誘導するため、都市環状軸沿線の未接道地を減少させる。 西二号通整備により都市機能拠点へのアクセス時間の短縮を図る。 都市機能の集積を通じて中心市街地の活性化を図り、回遊する人を増加させる。												
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値				備考		
						当初現況値	中間目標値	最終目標値				
						(H27当初)			(H31末)	平日昼間、調査地点：2か所		
市西部の日用品スーパー空白地域における都市環状軸沿線の未接道地面積【㎡】						78,749		10,001				
都市機能拠点へのアクセス時間の短縮率 短縮率＝（現況アクセス時間－整備後アクセス時間）／現況アクセス時間【％】						-		40				
中心市街地における歩行者等通行量【人／9時間】						2,348		2,600				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,165百万円	A	1,165百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	

社会資本総合整備計画

平成30年10月11日

計画の名称		1 都市機能の集約と集積によるコンパクトシティの構築											重点計画の該当		
交付対象事業															
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	49	212	133		
計画別流用 増△減額 (b)	△ 9	0	0		
交付額 (c=a+b)	40	212	133		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	80		
支払済額 (e)	40	132	209		
翌年度繰越額 (f)	0	80	0		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	4		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0%	0%	1.9%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	—	—	—		

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面)

計画の名称	1 都市機能の集約と集積によるコンパクトシティの構築		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)	交付対象	北海道滝川市

